

「ぶらり散歩 権太坂」第2弾に参加して

投稿日：2015年11月16日

投稿者同窓会会員：櫛田 政五郎

(写真は佐業会長様からのご提供)

2015年11月6日(金)、散歩には爽やかな最高の日和。参加者総勢12名は、JR保土ヶ谷駅10:00に集合した。

今回のコースは、旧東海道「保土ヶ谷宿」から「戸塚宿」へ向けての約5キロ。この行程を2時間かけてゆっくり歩く予定である。

まずは、駅の近くにある散策案内図の看板に目を通し、コース全般を把握した。コースの資料は、同窓会HPの「ぶらり散歩 権太坂」を事前にコピーして持参した。さらに佐業会長の説明を受けながら、旧東海道・商店街のところどころにある案内板を見ながら進んだ。



しばらく行くと観光案内の「程ヶ谷宿番所」があった。そこには、会長のお嬢さんが作成したという、楽しいイラスト入りパンフレット〈「一心山 良翁院 境木延命地藏尊」について説明〉が置いてあった。参加者全員がその出来栄えに驚きながら、興味深く見入った。

「程ヶ谷宿番所」から細い旧東海道を真っ直ぐ進むと、東海道線の踏切に出る。それを渡ると国道1号線にぶつかる。右折すると「保土ヶ谷本陣跡」があるのだ。さらに、この国道沿いには脇本陣である「旅籠本金子屋敷」もある。ここの通用門や格子戸は、当時の旅籠の雰囲気をよく伝えている。

ここで集合写真を撮影した。

近くを流れる今井川に沿って歩くと「一里塚」と松並木があり、塚の上には小さな榎が植えられていた。

さらに進むと、路上のマンホールの蓋にはカラフルな箱根駅伝の絵が描かれてあり、急に現在に引き戻された。この国道1号線は、あの箱根駅伝のコースなのだ。

Y字路を右手に入ると、旧東海道に入る。この細い道を500mほど行くと、日蓮宗の樹源寺がある。ここの石段を上ると、境内には手入れの行き届いた美しい庭と池があった。悠然と泳ぐ大きな鯉を見ながら、ここでしばしの休息をとった。

ここから、今日一番の見どころでもある権太坂へと向かう。

権太坂は、毎年正月に行われる箱根駅伝の難所の一つである。国道1号線の元町橋交番前を左折し、50mほど進むとこの坂が待っている。各校のエースが、母校の栄誉を賭けて登ってゆく光景が思い出される。

旧東海道は、現在の国道とほぼ平行に走る細く険しい道である。当時の旅人は、追いはぎにも気遣いながらの厳しい旅程であったろう。しかし、この権太坂の途中からは富士山と丹沢山塊を望むことが出来た。心地よい爽やかな風を感じながら暫しの休憩をとった。

旧東海道をさらに登ると、右手に県立光陵高校と左手には境木小学校がある。それを横目に見ながら境木地蔵尊へと足を進めた。旧東海道を登り切ったところに、その「境木延命地蔵尊」があった。ここでも全員の写真を撮った。

この近くには「ごんた餅」や「じぞう最中」で有名な創作和菓子店「栗山」がある。参加者は早速おやつとお土産にと買い込んでいた。

ここから少し離れたところに「投げ込み塚跡」があった。これは、この旅の難所で命を落とした旅人が葬られた跡である。建てられた石碑には、昭和39年と刻まれていた。また、佐業会長からは、当時発掘された資料写真を示しながらの説明があった。

散歩途中の休憩では「じぞう最中」などを楽しみながら、ようやくJR東戸塚駅にたどり着くことが出来た。全員元気で無事に満喫の「ぶらり散歩」を終えることが出来たのは何よりであった。

私自身、大変楽しく1日を過ごすことが出来て満足している。これも、佐業会長はじめ企画してくれた仲間の皆様と、参加された皆様のお蔭である。

これらに感謝をしつつ、第2弾の「戸塚宿」企画に期待している。

